

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立中京もえぎ幼稚園)

1 平成26年度 重点評価項目

1. 確かな学力の育成(自分で考え行動する主体的な子ども)
2. 豊かな心の育成(自己発揮しながら仲間と共に協調する心豊かな人間性)
3. 健やかな体の育成(たくましく生きるための健康や体力)

2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
						評価日	平成26年10月24日	評価日	平成26年10月27日
						評価者・組織	学校評価委員	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
						分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学 校評議員による改 善に向けた支援策
1	確 かな 学 力	充実した遊び	・遊びの充実を目指した 環境構成の充実 ・全ての教員の研究保育	・一人一人の幼児の遊ぶ姿の変 容 ・幼稚園を楽しんでいますか ・幼稚園には楽しく通う雰囲気があ りますか	「そう思う」保護者の割 合100%	⇒	・研究指定により進めている 研究や研究保育などから遊び が充実し、子どもたちも楽しん で幼稚園に来ている。 ・言語活動の充実の素地とな る自分の思いを伝えようとし る力が、幼稚園や教師との信 頼関係を築くことで育てきて いる。 ・読書についてはそれぞれの 家庭の事情などにより、取組 方や意識に差がある。	⇒	・教職員が一人一人の 子どもたちの発達や性格 を把握し、心により添っ ている姿を見る。子ども たちも自分の思いをさら に出していけると思われ る。
		自分の思いを身 近な人に伝えよう とする力の育成 読書の習慣化	・子どもが自ら思いを出そ うとする教師のかかわり の実践 ・保育中の絵本の読み聞かせにつ いての充実と保護者への伝達 ・読書ノートや絵本貸出を活用した親 子読書の取組	・家族や先生など身近な人に自分 の気持ちを伝えようとしていますか ・教職員は子どもの思いに耳を傾 けようとしていると思いますか ・読書ノートの活用 ・親子で読書の機会を もっていますか	「そう思う」保護者の割 合98% 「そう思う」保護者の割合97% 読書ノートの取組方は家庭によっ て様々である				
2	豊 かな 心	様々なことに意欲 をもって取り組む とする態度の育 成	・様々な心を動かして遊 ぶことが出来る魅力的な 環境構成 ・自律性を育む教師の援 助について毎期の事例 検討	・様々なことに興味をもっています か ・幼稚園には自ら遊びたくなる環境 が整えられていますか ・集団生活などのきまり を守ろうとしていますか	「そう思う」保護者の割 合97% 「そう思う」保護者の割 合99%	⇒	・保育環境の充実や教職員間の連携に より子どもたちが自ら環境にかかわり 意欲的に遊んでいる。 ・教職員は、自律性を育むための発達 の道筋について研究することにより、子 どもの姿がより具体的に発達に即して 考えることができ、子どもの成長に見通 しをもってかかわることができている	⇒	・集団の中での揉め事に対 して、教師が丁寧にかかわ ることで、相手の気持ちに気 づき、お互いが気持ちよく遊 ぶにはどうしたらよいかなど 遊びの中で身につけてきて いる。
		基本的な生活習慣 の確立	・早寝・早起き・朝ごはんの大切さ についての保護者啓発 ・自分のことを自分でする喜びを感じ 自信となり自立へ向かうための教師 の援助の充実	・早寝・早起き・朝ごはんなど規則 正しい生活ができていますか ・幼稚園に片づけやすい環境や持 ち物の始末など意識できる環境や 教師の関わりが感じられますか	「そう思う」の保護者の 割合95% 「そう思う」の保護者の 割合97%				
3	健 や かな 体	体を動かす遊び を楽しむ意欲の 育成	・遊びを通して体を動 かす楽しさを感じるこ とが出来環境の充 実	・体を動かして遊ぶこと を楽しんでいますか	「そう思う」の保護者の 割合97%	⇒	・基本的な生活習慣に対する家 庭の意識に差がある。大事だ と思っているが、難しいのか、 意識が薄いのか、その思いを もう少し聞く必要がある。 ・体を動かして遊ぶことを楽し む遊びに対する興味は、個人 差がある。	⇒	・運動会を通して体を動 かす楽しさを感じている。 また、園外保育なども体 力作りにつながっている と思われる。 ・体力だけでなく、精神力 も共に育まれていること を感じる。
		情報発信の充実	・ホームページの更新 ・幼稚園たよりの充実 ・パパ・ママティチャーの取組	・教職員に放しきやすい雰囲気があ りますか ・幼稚園の遊びの様子がわかりま すか	「そう思う」の保護者の 割合94%				
4	独 自 の 取 組	子育て支援の推 進	・預かり保育の充実 ・園庭開放の実施 ・未就園親子への教育相談の取組	・預かり保育に関するアンケート ・園庭開放の参加人数 ・教育相談への参加人数	・4・5歳児のほぼ全員が預かり保 育を一度は利用している。3歳児も 利用者が増えてきている。 ・園庭も毎日残って遊ぶ親子が多 い ・未就園教育相談は平均20組程 度の親子の参加がある ・保幼小交流会を通しての子ども の成長の連続性について教員 間で共通理解ができた ・交流会についての事前研、事後 研、エピソード研修 ・研修会を通しての子ども達の姿 容や教師の学び	⇒	・保護者はわが子の様子 をもっと知りたく、担任や教 職員と話すことを求めている。 ・預かり保育や園庭開放な ど、ニーズに合わせた子育て 支援の場を提供できて いる。 ・保幼小連携は研究プロ ジェクトの3年目になり充 実してきている。	⇒	・毎日のホームページが更 新されており、また、毎月の 地域版の幼稚園たよりに より、幼稚園の様子がよくわ かる ・ホワイトボードを利用して の情報発信など、連絡事項 等も細かく伝わってくる。 ・保護者の方も受け身でな い意識が必要とも思われ る。
		保幼小連携の充 実	・子どもみらい館保幼小 連携プロジェクトでの研 修						